

一般社団法人 日本シュタイナー幼児教育協会  
第 17 回定例研修会のご案内  
2020 年 2 月 1 日～2 日  
国立オリンピック記念青少年総合センター

テーマ

## 「アントロポゾフィー医療の観点から 子どもの健康を考える」

第 17 回定例研修会に向けて

私たちは子どもたちに「心身共に健康でいて欲しい」と願います。「健康」とはどのような意味でしょうか？「病気ではないこと」「ハンディーキャップがないこと」を意味するのでしょうか？

〈（ルドルフ・シュタイナーの言う）”教育芸術”の目標は、子どもが、自分の自我と身体機構、生命力機構、心的機構という3つの構成要素が、相互に働いて、より良いバランスを取ろうとするプロセスに向き合い、さまざまな抵抗を乗り越えることを支えるということです。それがうまくいったとき、それを私たちは「健康」と呼ぶのです。〉

シュタイナー教育基本指針 I（水声社）より

今回の定例研修会では、日本アントロポゾフィー医学の医師会より安達晴己先生と小林啓子先生をお迎えして、小児感染症や予防接種について共に学ぶ機会を持つことになりました。

保育者として、親として、幼い子どもたちが自分の身体を自分のものにしていくプロセスの中で、「健康」というバランスを見つけることをどのように支えていけばいいのでしょうか。人智学に基づいた医療を通して、子どもの発達や健康を考えてみましょう。

日本シュタイナー幼児教育協会 代表 松浦 園

2月1日(土) 10:00~12:00

### 講演① 【はしか、水ぼうそう、おたふくかぜなどの小児感染症と予防接種】

子供の熱の感染症はほとんどが心配なく自然に治っていくもので、過度な不安を持つことなく病気をよく知ることが大切です。発熱することで免疫力を高めたり、熱を出すこと自体にも意味があります。また、子供の病気は発達のプロセスを高めるものとも捉えられます。子供の病気の意味や予防接種についてみなさんと一緒に考えて行きたいと思います。

講演者： 安達 晴己医師      小林 啓子医師

2月2日(日) 9:00~10:30      10:45~12:00

### 講演② 【子どもの免疫力を高める医療とは】

免疫力とは、よく耳にする言葉だと思います。実際は、どのような仕組みで働き、どのように育むことができるのでしょうか。日常生活から医療的なケアまで、子どもの免疫を高める方法を一緒に考えて見ましょう。

### 講演③ 【子どものアレルギー疾患について考える】

現代病の代表としてアレルギー疾患が挙げられます。特に子どもたちに、さまざまなアレルギーが増えています。アレルギーは免疫に関わる病気ですが、どのような仕組みで発症し、どのような意味を持ち、現代社会のどのような課題とつながっているのでしょうか。

②③講演者： 安達 晴己医師

## 講演者プロフィール

### 安達 晴己

プライマリケア認定医、アントロポゾフィー医学認定医。

医師として研修後、子育てを通してアントロポゾフィーと出会う。

賢治の学校ふくおかの活動に参加。親としてたんぽぽこども園の設立に関わる。現在も理事、園医を務める。

2010年アントロポゾフィー医学の認定医を取得。通常医学の診療所に非常勤として勤務。アントロポゾフィー医療を自由診療で行う、小さいおうち自由クリニックを福岡県福津市に2011年11月に開所。日本アントロポゾフィー医学のための医師会代表。

### 小林 啓子

小児科専門医。アントロポゾフィー医学認定医。

子育てで支援がしたいと思い親子相互交流療法セラピストの資格取得。

藤野シュタイナー学校校医 通常医学のクリニックや病院に非常勤として勤務。アントロポゾフィー医学を実践したく藤野にクリニック開設。

## 分科会の紹介

2日間で同じ分科会を選び、2回受けていただきます。一つのテーマに集中でき、深まってゆくことでしょう。以下のうち、一つを選んでください。

### ① 子どもの体を温める。私の体を温める。

安達晴己 石浦江利砂 松浦園

現代の子どもたち、そしておとなの私たちも、周囲の環境からの影響もあり、体が冷えている傾向があります。1日の分科会はこどもの体を温めることの大切さを具体的な実践も含めて、お話を伺います。2日はオイリュトミーを行い、大人の私たちの体を温めることを実際に体験します。オイリュトミー シューズか靴下をご持参ください。

### ② 手遊び 後藤寛子 鈴木まゆみ

日本のわらべうたそしてシュタイナー乳幼児教育に見られる独特な手遊びや歌など、故きをたずね、新しきを知るように今の子どもたちにふさわしいものを皆さんと考えていきたいと思えます。参加者の方も普段やっている手遊びなどご紹介ください。歌の楽譜などをご用意ください。

### ③ ひざ劇 宮地陽子 牧野奈巳

しっかり作りこんだ人形劇は行事や祝祭などにふさわしいものですが、簡素なひざ劇には、どこでも身近に演じられる良さがあります。今回は、ひざ上で演じる小さな人形劇を体験・制作します。人形劇の引き出しを一つ増やしましょう。

### ④ シュタイナー園にあるもの・やることの意味を考える

山西真理子 吉良創

シュタイナー園で行われていることには一つ一つ意味があります。1日の生活の流れや環境にも配慮されていることがあります。

私たちはその意味を保護者へどのように伝えることができるでしょうか。日々の保育の中でどんな風に伝えられるのか、意味を確認しながら考えてみたいと思えます。

## ○出店の募集について

団体、あるいは個人で、机1台 1,000円、2台まで、出店を募集します。

2/1、2/2 両日とも出店可能（1日のみでも金額は同じです）。

ご希望の方は、団体（個人）名、担当者名、机の希望台数、希望日を明記し、1/14-22の間に、すみれの庭の山田美也子さん <teatime583@gmail.com> までご連絡ください。食品に関しては焼き菓子など、火を通した物のみとしてください。

## ○宿泊の希望について

オリンピックセンターにて若干名の方の宿泊が可能です。

ご希望の方は理事 牧野さん <kenji-fukuoka@ac.auone-net.jp> までご連絡ください。

日本シュタイナー幼児教育協会定例研修会 2020年 2月1日～2日

テーマ 「アントロポゾフィー医療の観点から子どもの健康を考える」

2月1日(土)	2月2日(日)
	9:00～10:30 (8:30開場) センター棟-309号室 <b>講演会②</b> 「子どもの免疫力を高める医療とは」 安達晴己医師
10:00～12:00 センター棟 309号室 <b>講演会①</b> 「はしか、水ぼうそう、おたふくかぜなどの 小児感染症と予防接種」  安達晴己医師 小林啓子医師	10:30～10:45 休憩
	10:45～12:00 センター棟 309号室 <b>講演会③</b> 「子どものアレルギー疾患について考える」 安達晴己医師
12:00～13:15 昼食・休憩	12:00～13:30 昼食・休憩
13:15～14:45 センター棟 309号室 <b>午前の講演についての質疑応答</b>  安達晴己医師 小林啓子医師	13:30～15:00 <b>分科会2回目</b>  ①子どもの体を温める。私の体を温める。 ②手遊び ③ひざ劇 ④シュタイナー園にあるもの・やることの意味を考える
14:45～15:15 休憩	15:00～15:15 休憩
15:15～16:45 <b>分科会1回目</b>  ①子どもの体を温める。私の体を温める。 ②手遊び ③ひざ劇 ④シュタイナー園にあるもの・やることの意味を考える	15:15～16:30 <b>まとめ</b> センター棟 309号室  分科会の部屋は当日、お知らせします
17:00～18:30 <b>交流会</b> センター棟 309号室  ☆ 交流会の中で保育中の服装の ファッションショーを予定しています。 エプロンをお持ちの方はご持参ください。	いつかは皆さんと楽しみながら機会を持ちたいと思っていました。 皆さんどのような服装で保育なさっていますか？ またはエプロンを着用している場合、どのようなものですか？  普段身に着けているエプロンを持ち寄り、保育をしているときの服装 でファッションショーしてみませんか？これからの保育者のための ファッションをご一緒に分かち合いたいと思います。 こちらから個別に依頼することもあります。ご了承ください。